

アメリカの介護施設で行われたおばあちゃんたちの“チャレンジ”
それはみんなが笑顔になる希望の物語



人生を輝かせるヒントは
彼女が教えてくれた

僕がジョンと呼ばれるまで

プロデューサー：太田 茂 監督：風間 直美 / 太田 茂 構成：武田 浩 / ロジャー・バルバース 撮影：松本 克巳 取材：水野 潤
 スペシャルサポーター：株式会社 公文教育研究会 / 株式会社エーゼット / 株式会社カープスジャパン / 株式会社ジェー・シー・アイ / セコム株式会社
 後援：日本赤十字社 / 公益財団法人 さわか福社財団 / 公益社団法人 日本認知症グループホーム協会 / 財団法人 健康・生きがい開発財団 / 社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
 技術協力：コスモ・スペース オブ アメリカ 制作協力：共同テレビジョン 製作・配給：仙台放送 配給協力：東風 / 協同組合ジャパン・スローションマ・ネットワーク
 2013 | HD・DCP | 日本・アメリカ | 82分 | ドキュメンタリー ©2013 仙台放送

2013年 アメリカンドキュメンタリー映画祭 観客賞 (外国作品) | 2013年 クリーブランド国際映画祭 ローカル・ヒーローズ部門ノミネート 女性監督部門ノミネート | www.bokujohn.jp | facebook.com/bokujohn | 2013年 ベルリン国際フィルム・アワード 特別選考賞 | 2013年 ロサンゼルス・ムービー・アワード 奨励賞

老いること、それは誰も避けることのできない人生の季節。
肩の荷を下ろすように、少しずつ過去のことを忘れていくのは自然なことです。
しかし、たとえば認知症。いまだに根本的な治療法はなく、
突然のことに本人も家族も戸惑います。
私たちは、この難しい病とどうつき合っていけば良いのでしょうか？
どうしたら人生の最後の季節を自分らしく生きることが出来るのでしょうか？

平均年齢80歳以上のアメリカ・オハイオ州にある高齢者介護施設。ここに暮らす多くの方が認知症です。スタッフのジョンは施設で暮らすおじいちゃんおばあちゃんに毎日たずねます。「僕の名前を知っていますか？」でも、答えはいつも「いいえ」。何度名前を伝えても覚えていません。そんな彼女たちが挑戦したある取り組み^{*}が、彼女たちの毎日を変えていきます。それはスタッフと一緒に、読み書きや簡単な計算などを行うことで認知症の改善を目指すというもの。



エブリン(93歳)は認知症と診断されて2年。自分の名前も書けず、ジョンとの会話も噛み合いませんでした。しかし彼女にも大きな変化が表れます。趣味の編み物を再びはじめ、笑顔でジョンに話しかけるようになりました。そして、かつてお得意だった辛辣なジョークまで復活したのです。そのことは、ジョンやスタッフ、そして家族をも笑顔に変えました。この物語に登場する人たちの笑顔が、私たち誰もが抱える不安を希望に変えるヒントになるはずです。



★
「脳トレ」ブームの立役者である東北大学・川島隆太教授と、公文教育研究会、介護現場の協力によって生まれた認知症改善プログラム「学習療法」のこと。認知機能が衰えはじめた高齢者とスタッフが、対面でコミュニケーションを取りながら、簡単な「読み」「書き」「計算」を行うもので、現在、日本国内で1万人以上が実践しています。